

令和8年度 一宮市立三条小学校 教育目標

(1) 教育目標 『心豊かな、たくましい三条っ子』の育成と保護者・地域から信頼される学校をめざす

求める児童像	・思いやる心や感動する心をもつ子	・・・笑顔いっぱい
	・心と体を鍛え、たくましく生きる子	・・・元気いっぱい
	・自ら学び、基礎・基本を確実に身に付けた子	・・・学びいっぱい

「認め合い、高め合う」集団形成において上記の児童像をめざす。

(2) 経営方針

教職員の信頼と責任ある協力体制を確立し、全職員が本校の教育目標の実現に向け、自己研鑽に励み、自己の資質・授業力の向上に努め、児童にとって「通いたくなる学校」、保護者・地域の人々にとって「通わせたい学校」づくりを目指す。

ア 「わかる・できる・身につく・学び合う」授業をめざし、確かな学力を育成する。

イ 互いのよさと違いを認め合う仲間づくりに努め、豊かな人間性や社会性を育成する。

ウ 体力の向上と安全で健康な望ましい生活習慣の定着を図り、健やかなからだを備えた児童を育成する。

エ 学校での教育活動を公開して、家庭や地域の理解を図り信頼される学校づくりをすすめる。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成

- ・ 学習ルールやマナーを身に付けさせ、基礎基本の定着に努める。そして、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、自分の強みを生かし、他者とも協働しながら粘り強く学習できる授業づくりを行う。
- ・ 特別な教育支援を必要とする児童への理解を深め、ユニバーサルデザインを意識した授業づくり(国・算)を推進することで、一人一人の特性に応じたきめ細やかな指導に努める。
- ・ 英語を活用する場面や目的を意識した英語授業を実施し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解を深める。

イ 豊かな心の育成

- ・ 挨拶、整理整頓、姿勢に重点を置いた基本的生活習慣や社会のルール・マナーの定着を図るとともに、児童会活動、ふれあい活動(異学年交流)や読書活動、地域美化活動を通して豊かな人間性を高める。
- ・ 道徳科を中心に、児童が自己の生き方について考えを深める道徳教育をすすめ、実践力を伴った道徳性・社会性を育てる。また、QUを活用した学級づくり等を通して自己有用感、自己肯定感を高めたり、共感的な人間関係を育成したりして、いじめや不登校の予防や未然防止、集団生活の充実に向けた取り組みを充実させる。

ウ 健やかなからだの育成

- ・ 体育の授業や体育的行事等、生涯にわたって運動に親しませる機会の充実を図り、進んで外遊びや体力づくり運動に取り組みさせることにより体力の向上に努める。
- ・ 児童への指導や、家庭・地域への協力の呼びかけを行い、「早寝、早起き、朝ごはん」等の望ましい生活習慣の定着を図る。
- ・ 交通安全や危険予知トレーニング、防災安全、情報モラル等の安全教育を推進するとともに、通学班での安全な登下校の指導に努め、自分の命は自分で守る意識を高める。

エ 信頼される学校づくりの推進

- ・ 校内現職教育、自己の力量を高める研修会等を通し、子どもが学ぶ喜びを実感し、教職員が働きがいを感じられるように努める。
- ・ 施設・設備の点検や安全管理を徹底するとともに、自然災害時においても家庭・地域と連携して児童の安全確保に努める。
- ・ 学校運営協議会の充実を図り、地域住民から学ぶ授業(昔遊び、伝統芸能など)や地域との関わりを生かした教育活動を展開する。

オ 多忙化解消にかかる業務改善を図る。